



あげしお

令和5年12月25日

鷹南学園

三鷹市立第五中学校

校長 鶴崎 靖二

◇学校教育目標◇

- ・進んで考える人
- ・情操豊かな人
- ・心身ともに健康な人

～「あげしお」物事の勢いが盛んになることを意味し、生徒が勢いよく活躍するという思いを込めて～

ホームページ <http://www.mitaka-schools.jp/gochu-jhs/>



学校HPリンク

「夢にときめけ！明日にきらめけ！」

校長 鶴崎 靖二

標題の「夢にときめけ！明日にきらめけ！」は、少年ジャンプに連載した森田まさのり氏の漫画「ROOKIES」の主人公、川藤 幸一の言葉です。TBS系の地上波でもドラマ化され、映画化もされましたね。テレビ放映から15年も経っているから、もしかしたら現役中学生は全く知らないかもしれませんね。

ストーリーは、「不良礼讃」・「暴力」的な部分もあります。しかし、根底にあるのは人間愛だと思います。不良・クズ呼ばわりされていた生徒を川藤先生がとことん寄り添い、信じ、生徒たちの夢の実現に向けて、本気で応援しようとする川藤先生の姿、そしてそれに応えようと心を開き、甲子園という夢の舞台に向かって全力で頑張る生徒たちの姿に、読者や視聴者は心を動かされたからだと思います。かくいう私も、涙を流して観たその一人です。

さて、なんでこの標題で巻頭言を書こうと思ったのかというと、今月、三年生の面接練習をしていて、少し考えることがあったからなのです。

私は面接に来た三年生に必ず尋ねることがあります。それは、「将来の夢はありますか」「どんな仕事をしてみたいと思っていますか」です。すると、多くの生徒が考え込んでしまい、「ありません」「高校に行ってから考えたいと思います」などと答えるのです。中には「お金をたくさん稼げて、ホワイトな会社に就職したい」という答えもありました。お金を稼ぐことは決して悪いことではないし、お金は誰だって欲しいものです。「年末ジャンボ宝くじが大当たりしたらいいなあ・・・」と、私だって何度か想像したことがあります。

しかし、お金とは、使うためにあるものであって、目的があって初めて役に立つのです。単にたくさんあってもしょうがない。ですから、お金は「目的」ではなく、「手段」です。

「人は起きて半畳、寝て一畳、天下を取っても二合半※」ということわざがありますが、身に余るお金は、使い道がなければ紙切れです。使い道があってこそ、お金に真の価値が生まれるものだと思います。人生において、「目的」とは、まさしく「夢」でしょう。夢とは、未来で実現したいこと。自分がそう在りたいと目指す姿なのです。

「夢にときめけ！明日にきらめけ！」という言葉。まぶしく、そして懐かしくも感じます。私は小学生の時、動物が大好きで、動物学者や獣医、動物園の飼育員になりたかった。動物の絵をよく描いていました。中学生の時、美術家を目指した私。高校の時、美術の教師を目指した私。校長になったのも、成ろうと思ったからです。目指した私がいたから、今、私はここにいる。成りたい者に成れるのは、成ろうとした者だけなのです。

夢は変わっていてもいいのです。また、いくつもあっていい。夢の数だけ、人は頑張れる。たとえ実現できなかった夢でも、その努力の軌跡は生き様に刻まれる。人生には、無駄はないのだ。

五中の諸君！夢にときめけ！明日にきらめけ！



※人の居場所は、起きている時が半畳、寝ても一畳あれば足りる。金持ちになっても、二合半も食べれば腹も膨れる。人は必要以上の富貴を望むべきではなく、満足することが大切であるという教え。